

コミュニティ・スクールだより

第4回学校運営協議会を開催しました

1月18日（水）に、令和4年度第4回学校運営協議会を開催しました。

今回は、コミュニティ・スクールの本年度の成果と課題、来年度の取り組みについて話し合いました。

会議の内容は、

1. 児童代表（5年生6名）との意見交換
テーマ「十小をよりよい学校にするために地域の方と協力して取り組みたいこと」
2. 教職員（4名）との協議
テーマ「学校評価の結果について」
3. 学校運営協議会委員による熟議
テーマ「学校の課題と改善策」



学校運営協議会の出席者

近藤区長 西公民館長 学校支援ボランティア代表 六郷地区青少推会長
第十小学校見守り隊代表 主任児童委員 西公民館活動推進委員 西幼稚園教諭
第三中学校長 多々良中学校長 第十小学校長 第十小学校教頭
CSディレクター 館林市教育委員会

協議・熟議での主な意見

- 委員会活動や縦割り活動に地域の方に入っていて、一緒に考えてもらえると、活動がより活性化できるのではないかと。地域の方から直接学ぶことができる交流の場をもっと増やしたいという思いを持っている子どもが多い。そこから地域の活性化を進められたらいい。
- 地域の方と一緒に野菜作りをして、その野菜で料理をしたい。ラジオ体操を地域でやりたい。園芸を一緒にやりたい。という意見が子どもたちから出た。実現できそうなことからやってみるといい。
- 2学期に1・6年生が地域の人と交流した「昔遊び」が「とてもよかった。またやりたい。」という声を聞くことができた。学校では実施できる学年や時間が限られてしまうので、公民館や児童館や学童でもできるといい。それを地域として継続していいとしたい。
- 「昔遊び」をやってみて、道具を器用に扱うことができない子どもが多かった。基本的なことをやる経験が不足している。私たちが責任を持って教えていかなければならないと感じた。
- いろいろなことをやっていく上で、元気な高齢者に出てきてもらえるよう、もっと呼びかけるといい。子どもたちが、経験を通して、社会の一員としての自覚をもって成長していってくれることを願っている。
- 6年生は中学校のことをとても心配していて、学校生活や部活動のことを知りたいと思っている。先生から話を聞くだけでなく、中学生から直接話を聞くことができると、より分かるので、そういう交流がもてるといい。
- 自転車の乗り方に課題があるので、小中で連携して指導していかなければならない。6年生と中学1年生と一緒に自転車で通学路を走ってみようという意見があったが、難しいので、中学生が危険箇所を撮影した画像をまとめて小学校に送る方法がいい。